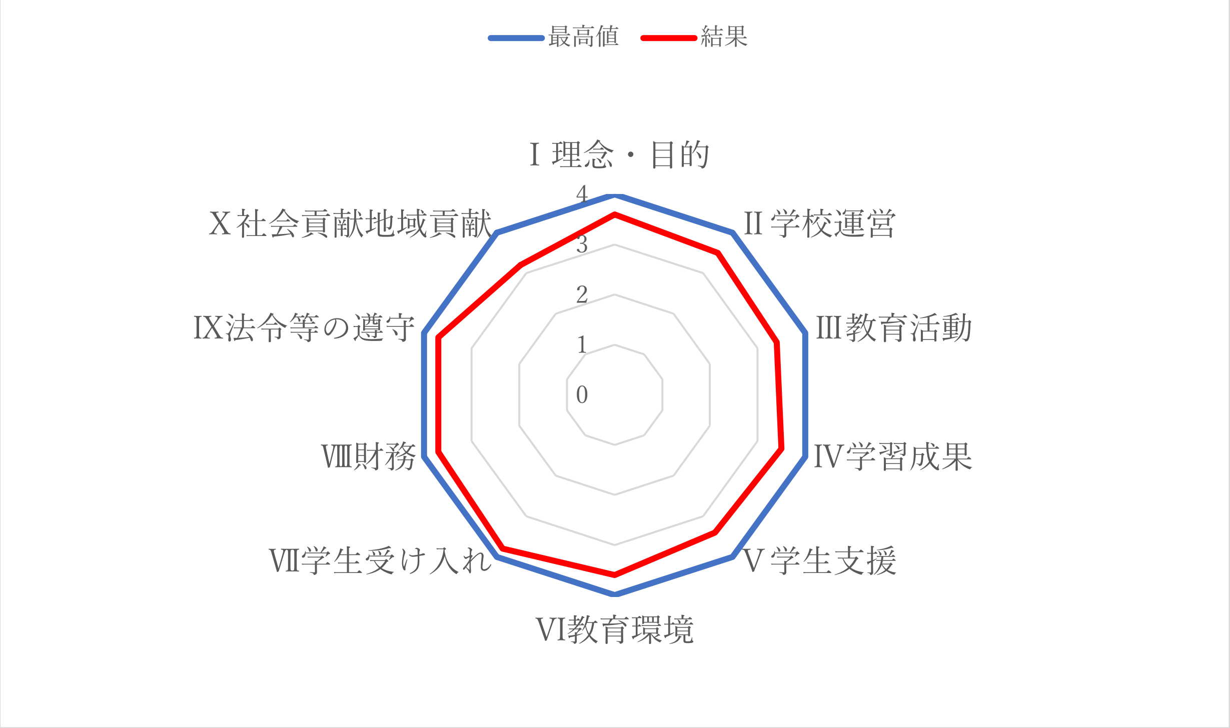
資料 1

2024 年度　学校自己評価結果

評価基準　　4：適切　　3：ほぼ適切　　2：やや不適切　　1：不適切

大項目評価

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ
	理念・目的・人材像	学校運営	教育活動	学習成果	学生支援	教育環境	学生受け入れ・募集	財務	法令等の遵守	社会貢献地域貢献
2024 年	3.6	3.5	3.4	3.5	3.4	3.6	3.8	3.7	3.7	3.2
2023 年	3.6	3.4	3.5	3.5	3.0	3.3	3.6	3.2	3.4	2.7



教職員アンケート結果は平均 3.5 であり、ほぼ適切という評価となった。昨年と比較して 7 項目に改善がみられたが、Ⅲ教育活動は 0.1 ポイント下がった。教員の入退職により、経験が浅い教員が増えていることから、学校運営や看護教育、カリキュラムのことなど説明する機会を意識的に増やしたが、結果としてはⅠ理念・目的・人材像、Ⅱ学校運営、Ⅲ教育活動の 3 項目のポイントの伸びは横ばい又は改善が見られなかった。2024 年度ストレスチェックの健康いきいき判定ンの結果が前年度より改善がみられており、それを強みとして次年度は各項目の改善に取り組みたい。

大項目毎の自己評価と要約

Ⅰ　理念・目的・育成人材像　3.6

1	理念・目的・人材像は、定められているか	3.8
2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3.8
3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.4
4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	3.4

法人の理念・目的・育成人材像が成文化されており、教育理念・教育目的・教育目標にそった、教育事業計画が作成し、学校パンフレットや学生オリエンテーションや学生便覧などでなどで周知してるが、保護者の方へはどれだけ周知されているか把握していない。

Ⅱ　運営方針　3.5

1	理念等に沿った運営方針を定めているか	3.7
2	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4.0
3	設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.6
4	学校運営のための組織を整備しているか	3.4
5	人事・給与に関する制度を整備しているか	3.2
6	意思決定システムを整備しているか	3.3
7	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.5

人事・給与に関する制度を整備しているかの問いが3.2ということは、法人全体の人事評価制度が実施されているが、その内容や評価方法など十分理解していないと思われる。
評価面接を丁寧に行う必要がある。学校運営のための組織運営を適切に行っているかの問いに対しては、委員会や小グループを発足し対応しているが、臨地実習の対応にて、委員会が十分対応できていない。

Ⅲ　教育活動　3.4

1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.8
2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4.0
3	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.7
4	教育課程について、外部の意見を反映しているか	3.7
5	キャリア教育を実施しているか	3.4
6	授業評価を実施しているか	2.5
7	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.7
8	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.3
9	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置付けているか	3.7
10	資格・免許取得の指導体制はあるか	3.5
11	資格・要件を備えた教員を確保しているか	2.5
12	教員の資質向上への取組を行っているか	3.5

13	教員の組織体制を整備しているか	3.2

授業評価を実施しているか 2.5 である。常勤・非常勤講師と全ての授業に対して、授業評価を行うよう学生に促しているが、実際は、1/2 程度である。評価された内容は、一部しかフィードバックしていない。効果的な授業展開に向け、学生評価を活用していきたい。資格・要件を備えた教員を確保しているかについては、要件を満たしている教員の不足ということで県からの指導を受けている。今後も要件を満たしている教員の確保に努めていきたい。

Ⅳ 学習成果　3.5

1	就職率の向上が図られているか	3.9
2	資格・免許取得率の向上が図られているか	3.6
3	卒業生の社会的評価を把握しているか	2.9

卒業生の評価に関して、就職先や卒業生自身からの個別報告はあるが、卒業生への調査などは行っておらず十分把握できていない。

Ⅴ　学生支援　3.4

1	就業等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.7
2	退学率の低減が図られているか	3.5
3	学生相談に関する体制を整備しているか	3.8
4	留学生に対する相談体制を整備しているか	2.8
5	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.8
6	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.7
7	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	2.7
8	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.3
9	保護者との連携体制を構築しているか	3.7
10	卒業生への支援体制を整備しているか	3.3
11	産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	2.5
12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.4

現在、留学生の在籍はない。留学生に関する規程は定めており、必要時対応していきたい。学生寮の設置は行っていない。アパートでの一人暮らしの学生の把握は行っているため、学年担当が面談にて状況把握をおこなっている。生活指導など必要時は担当教員で対応を行っている。産学連携は行っていないが、今後、母体病院であるおもと会施設と効果的な臨地実習に向け研究なども取り組んでいきたい。学院とは、「職業理解」の科目で協同学習を行っている。

Ⅵ　教育環境　3.6

1	教育上の必要性に十分対応した施設・整備・教育用具等を整備しているか	3.5
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3.5

3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.8
4	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.7

教育上必要性な施設・整備・教育用具等の整備に関しては、予算の状況を鑑みながらして、計画的に対応していきたい。防災訓練は定期的に実施している。ＢＣＰの策定は行っているが、周知が不足している。

Ⅶ　学生の募集と受け入れ　3.8

1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	4.0
2	学生募集活動を適切、かつ、効果的におこなっているか	3.8
3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
4	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.3
5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.9
6	入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っているか	3.9

入学志願者が減少している状況から、ガイダンスやオープンキャンパスなど積極的に事務職と連携を取りながら取り組んでいる。入学選考基準は、教員間で、面接評価基準の確認を行い、本校が求める学生の人選に教員全体で取り組んでいる。

Ⅷ　財務　3.7

1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.5
2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.6
3	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.7
4	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.7
5	私立学校法人及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.8
6	私立学校法人に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.7

事業計画や予算計画書の説明はおこなっているが、可視化と周知が不足している。

Ⅸ　法令等の遵守　3.7

1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適切な学校運営を行っているか	3.8
2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4.0
3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4.0
4	自己評価結果を公表しているか	3.5
5	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.8
6	学校関係者評価結果を公表しているか	3.5
7	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.6

今後も、自己評価や学校関係者評価項目の可視化や改善に向けて取り組んでいきたい。

X　社会貢献・地域貢献　3.2

1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.5
2	国際交流に取組んでいるか	2.6
3	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.5

国際看護の科目の中で、海軍病院職員による講義や見学、ＪＩＣＡ沖縄センターの役割と事業内容について講義を行った。国際交流に関する取り組みは、引き続き検討していきたい。ボランティア活動は、これまでの地域の清掃活動に加えて、ＩＣＬＳを取得した学生が教員と共に「心肺蘇生トレーニング研修」を実施した。